

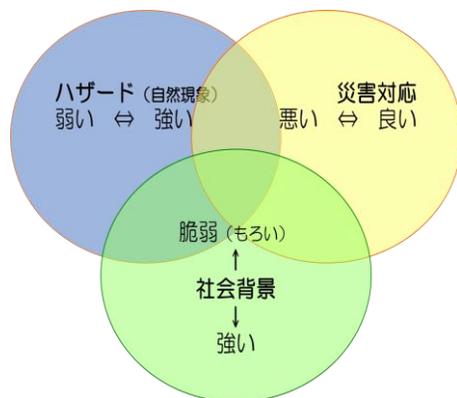
兵庫県立舞子高等学校 環境防災科

Maiko High School Environment and Disaster Management Course



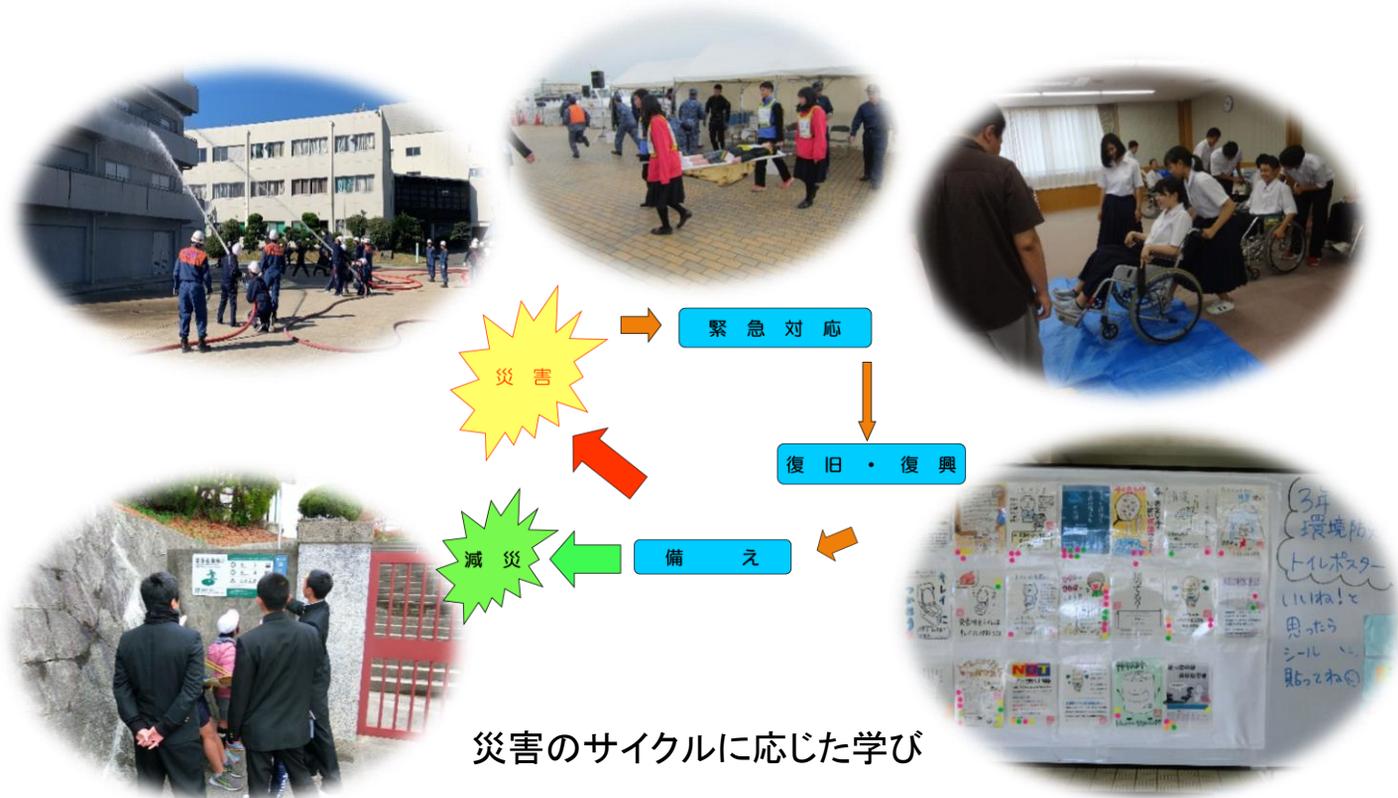
<こんなことを学んでいます>

災害のメカニズム(私たちをとりまく自然環境=ハザード)、災害への対応、災害の背景(社会環境)、震災体験者や災害対応専門家の授業(震災体験の語り継ぎ)、被災地の復興とまちづくり、防災教育プログラム作成と出前授業、心のケア、国際情勢、SDGs、インクルーシブ防災、ボランティア など



<こんなことを目指しています>

- ☆ Survivor(生き残れる人) / Supporter(他者を支えられる人) / 市民としての役割を自覚し行動できる人 になる
- ☆ 災害のサイクルにおけるどの場面でも、率先して臨機応変に行動できる力をつける
- ☆ 「自分はどこで、誰から必要とされているか」「自分には何ができるか」を考え、取り組んでいく
(自分の得意分野、身近なところで防災にかかわる=夢と防災を繋げる)



災害のサイクルに応じた学び

特別支援学校との交流および共同学習

障害児者が災害時に直面する様々な課題は阪神・淡路大震災でも指摘されていましたが、その教訓が十分に活かせていなかったことが2011年の東日本大震災で明らかになりました。障害の有無に関わらず全ての人が災害から生きのび、かつすみやかな復興(=人間としての尊厳が守られる暮らしを取り戻すこと)へとつなげるためには、相互理解にもとづくインクルーシブな社会を日常から築いておく必要があります。

舞子高校環境防災科「交流および共同学習チーム」は、専門の授業を通して知識・関心を高めた生徒の中から有志を募り、特別支援学校との交流・共同学習を通して「自助・共助」の力を高めあうという目的のもと、継続的な活動を行っています。

こばと聴覚特別支援学校交流

令和元年6月10日

3年生4名
2年生2名
1年生1名 計7名参加

- ・防災クイズ、劇
- ・防災体操
- ・保護者との対話
(日常の備えについて)



あれ？地震かな...



頭を守って！



津波がくるぞ！
高台へ逃げよう！



公園で遊んでいる時
に地震が来たら？

芦屋特別支援学校交流

令和元年11月20日

3年生4名
2年生1名
1年生3名 計8名参加

- ・防災クイズ
- ・避難行動確認
(あたりまえ防災)
- ・非常持ち出し袋について
- ・台風15号被災地支援
(メッセージカード作成)



正しい判断で...



適切な対応を！



非常持ち出し袋に
何をいれる？



被災地にエールを
送ろう！